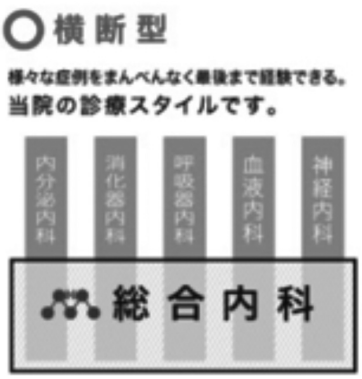
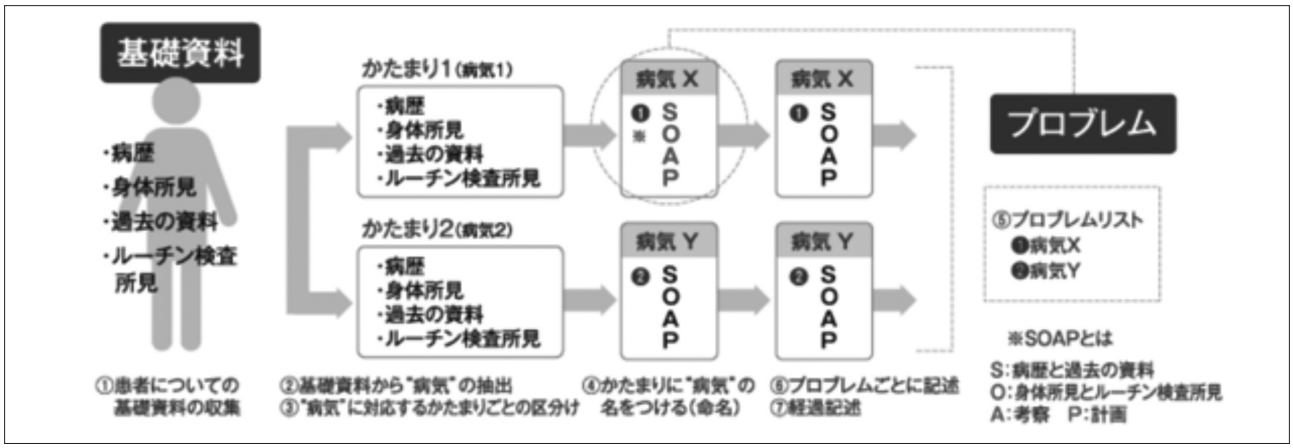
社会医療法人蘇西厚生会松波総合病院



当院のプログラムの特徴は、横断的に内科疾患（循環器内科を除く）を経験できる総合内科を中心とした内科プログラムです。

当院には､｢総合プロブレム方式｣の生みの親である栗本秀彦先生に師事していた村山正憲副院長を中心に、総合内科として「総合プロブレム方式」という形式に準じての合理的な診療を目指しています。いわば、内科臨床の学校のような病院です。後期レジデントの人数が多く、若手医師同士お互いに刺激となっております。



こちらの円グラフは当院の後期研修医１名の１年間に経験した症例数です。それぞれの症例数は２０件程度ですが、全て主治医として診療を行います。内視鏡検査も消化器内科医の指導のもと、自分で行います。

新専門医制度では、内科プログラム、総合診療プログラムで基幹施設となっており、専門医取得も可能です。

是非、お気軽にお立ち寄りください。心よりお待ちしております。